



『両立すること』

鹿児島県

鹿児島西警察署剣友館

小学5年生

海江田 光 太

ぼくは、小学校入学と同時に熊本の大津という所に引っこしてきました。学校から「少年剣道団員募集」という案内をもらいそこで初めて「剣道」というものを知りました。それまでも、「戦いごっこ」や「剣作り」など剣道にちかい遊びばかりしていたので、すぐに見学に行きまよわず入団することにしました。

最初は身につけるもの一つにも感動をし、日々のけい古も楽しくてしかたありませんでした。2年間熊本で稽古をし、3年目の春に鹿児島の引越と同時に家の目の前にある、鹿児島西警察署内にある剣友館という少年剣道クラブに入団しました。そこでも僕は、

「よーし、やってやるぞ。」

という強い気持ちでスタートしたのですが、チームの子供達のお父さんは警察官や教員でしかも剣道の先生をしているばかりで自分が思っている以上に剣道に対しての意気込みや心がまえが親子そろってとてもすごいと実感する日々でした。

ぼくの祖父と父は代々医者をしています。いなかの小さな病院ですが、祖父や父がやりがいをもって仕事をしている姿をみてきたぼくも、

「いつかぼくも医者になりたい」

とずっと思っていました。なので僕は3年生の夏から塾に通い始めました。

最初は週に1、2回で何ともなく通っていたのですが、5年生になったとたんまわりの同級生たちが将来の夢にむかって勉強に力を入れ始めたことでぼくもだんだんあせり始めました。週に3回も塾に行くと剣道の稽古の時間も減りチームの人達との間に体力や技術の差がでてしまうし、逆に試合前は塾を休み稽古に行くことで塾の勉強からおいていかれそうで最近までぼくはどっちも中途半端な状態でいました。しかし、そんな時に母が、

「その時、その時をしっかりと集中しなさい。剣道の日も塾の日も何か忘れなさい。そして、塾で勉強する時は剣道の日も頭からなくしてしまいなさい。」

と言われ少し気持ちが楽になりました。それから試合前で塾を休んだ分、塾に行ける日は1時間はやく行って補習をしたり稽古の日もただなんとなくその日の練習を終えるのではなく一日一日を何か一つでも得ることを目的に練習しようと思いつつやっています。

剣道をきわめたいけど、将来への夢も今からあきらめずにかねえたいぼくは「二兎追うものは一兎も得ず」にならないためにも、剣道も勉強も「工夫」しながらやっていきたいと思っています。